

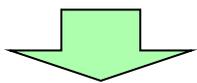
# 長岡市中心市街地活性化基本計画

(計画期間 20年11月～26年3月)

※ 期間延長適用後

## 【中心市街地を巡る状況】

- 長岡藩の城下町として発展。北越戊辰戦争・長岡空襲で焦土と化すも、多様な機能を備えた「まち」として復興
- 平成に入り、中心市街地内の大規模店舗の撤退・郊外大型店舗の進出が相次ぎ、中心市街地は衰退傾向
- 高齢化が進み、降雪の多い地域の居住環境・行政効率向上の観点から中心市街地の拠点性向上が課題に



## ○歩行者・自転車通行量

H元: 150,304人 → H19: 80,858人 (▲46.2%)

## ○居住者数

H元: 6,307人 → H20: 5,521人 (▲12.4%)

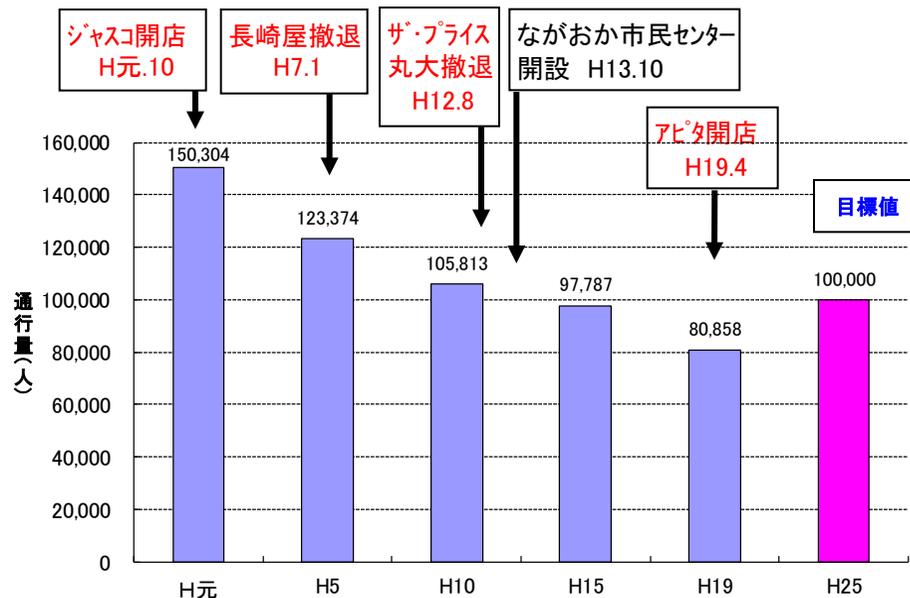
## ○従業者数

H3: 21,252人 → H18: 15,934人 (▲25.0%)

## 【目標】

目標	指標	現況値	目標値(H25)
まちに「来る人」を増やす	歩行者・自転車通行量 (平日・14地点)	80,858人(H19)	100,000人
まちに「住む人」を増やす	居住者数	5,521人(H20)	6,000人
まちで「働く人」を増やす	従業者数	15,934人(H18)	16,600人
まちで「活動する人」を増やす	交流拠点施設利用者数 (厚生会館地区)	325,000人/年(H18)	780,000人/年

## 【歩行者・自転車通行量の動向と数値目標】



市役所機能をまちなかに回帰させるとともに、天候に左右されずに楽しめるまちなか交流拠点施設やまちなかキャンパス機能をもった複合的再開発ビルの整備などを行うことにより、市民の交流の中心となるにぎわい拠点づくりを目指す。

# 長岡市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## 市民協働の拠点づくり

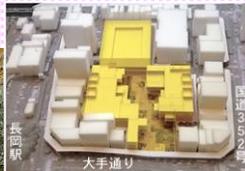
### ○市役所本庁舎の中心市街地への再移転

現在、中心市街地外にある市役所本庁舎を長岡駅前に**移転**し、分散している市役所分室と合わせて市役所機能をシティホール、東地区再開発ビル、市民センターの3か所に**集約配置**。市民の利便性向上を図る。



### ○市民協働型シティホールの整備

**公会堂(アリーナ)、屋根付き広場、市役所本庁舎**の3施設が**融合**した市民協働・市民活動の拠点施設を整備し、賑わい空間を創出(「まちの中土間」)



▲雪国ならではの屋根付き広場を中央に配置



スポーツ大会 市民参加イベント 表彰式等ハレの行事



### ○まちなか賑わい交流センターの整備



大手通りの再開発ビルに**学びと交流**の拠点となる「**まちなかキャンパス**」機能を備えたまちなか賑わい交流センターを開設

## 商業・業務機能の充実

### ○市民参加でつくる中心商店街のホコ天イベント

駅前の目抜き通り「大手通り」を**歩行者天国**にして、**市民参加のイベント**を開催



### ○空き店舗・事務所への出店支援

**空き店舗等**への出店者に**家賃の一部を補助**し、まちなかへの出店を促進



## まちなか居住の促進

### ○都市型住宅の整備

大手通中央東地区、西地区の2つの再開発事業により良質な**共同住宅**を整備。雪国の冬も快適に暮らせるまちなか居住を促進。西地区では**子育て支援施設**を整備。



### ○高齢者の安心な居住環境の確保

中心市街地に立地する**高齢者向け優良賃貸住宅の家賃減額補助**を実施。豊かな老後の生活を支援



## 交通結節点の機能強化

### ○JR長岡駅の利便増進

**駅東西自由通路、ペDESTリANデッキ、地下自転車駐車場**を一体的に整備し、来街者の利便性を増進

### ○市内循環バスの運行

長岡駅を基点とする**市内循環バス**の運行を支援  
▶ 循環バス「くるりん」

